

第7回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年12月22日(火) 16:00~16:45
- 2 場 所 マイタウン白河 2階 中会議室1
- 3 出席者
 - 会 長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)
 - 副会長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 取締役副社長 (白河市中心市街地活性化協議会))
 - 委 員：石川 格子 (公募)
 - 金子 善弥 (白河市生涯学習推進会議 委員)
 - 君島 正信 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 会長)
 - 鈴木 茂毅 (白河医師会 会長)
 - 鈴木 順子 (白河市子ども・子育て会議 委員)
 - 鳴島 あや子 (白河市公民館運営審議会 副委員長)
 - 事務局：鈴木 市長公室長、深町 企画政策課長、仁平 地域拠点整備室長
八巻 主任主査、関根 副主査
 - その他：(株)オリエンタルコンサルタンツ3人(山本、粟田、川村)
- 4 次 第
 1. 開 会
 2. 議 事
 - (1) 複合施設整備基本計画(案)について(総括)
 - (2) その他
 3. 閉 会

<議事概要>

【会長】

皆さん、こんにちは。本日は第7回目で最終の懇談会ということになります。昨年の12月に第1回の会議を開催いたしまして、約1年が経過したところでございます。この間、委員の皆様からは様々なご意見を頂きながら、こうして会を重ねて議論を深めてまいりました。今回は基本計画案について、最終の確認をして頂くということになっております。何卒よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせて頂きます。議事（1）複合施設整備基本計画（案）の総括について、事務局よりご説明をお願いいたします。

（1）複合施設整備基本計画（案）について（総括）

（資料1、資料2、資料3、資料4により事務局説明）

（事務局）

前回の11月4日の懇談会においては、パブリックコメントは、この基本計画の段階では見送り、もっと施設の全容が明らかになる基本設計の段階での実施を検討している旨説明したところですが、この基本計画の段階で実施し、広く市民の方に計画の概要をお知らせし、また、意見を伺うこととしました。今後の進め方としては、本日、委員の皆様から最後の意見を頂きまして、計画案の内容を固めます。来月1月中旬には、市議会議員に計画案について説明を行う予定であります。議員への説明後、1月20日頃から1か月間、パブリックコメントを実施し、最終的には令和3年3月末頃に計画策定を完了させるよう、進めてまいりたいと思います。本日は皆さんから最後の意見を伺いまして、計画案を固めて、議員説明やパブリックコメントを実施したいと思いますので、本日お示しした計画案について、追加・修正する意見がございましたら、具体的に修正する内容も含めて、意見を頂戴したいと思います。

【会長】

ありがとうございました。本日は最後ということになります。ただいま事務局から、複合施設整備基本計画（案）について、前回の懇談会での意見等を踏まえた修正を加えた内容をご説明いただきました。お時間も限られた中ではございますが、ご意見を賜りたいと思います。ご質問やご意見はございますか。

【委員】

1年こうやって色々皆さんにお世話になりまして、こうやってまとまってきたと思い

ます。そしてまた、白河市の職員の方、色々とお世話になり、ありがとうございました。さて、この計画は当初、少子高齢化が来る時代にて、どうやって人が集まる施設をつくるか、という考え方かと思えます。それが白河市としてどうなるか、私も1年間勉強させて頂きました。それを踏まえ、これは非常にまとまっていると思えます。ただ、前回の話で言うと、最初、駐車場に関しては、市役所の裏の所に立体駐車場を造る、それぐらいのスペースが必要だと分かりましたが、これ以上に人を集めるためには、皆さんやはり車ですから、そういった駐車場の台数を増やすような、そういった判断が必要になってくるかもしれません。駐車場を増やすことができればと思えました。以上です。

【会長】

ありがとうございます。事務局から只今のご意見に関して何かございますか。

（事務局）

今ご指摘のように駐車場については、アンケート結果などを踏まえてもニーズはあると考えておりますが、一方で、健康づくりといった要素も必要だと思いますので、積極的に歩けるような社会づくりと併せて、利便性の向上も含めて、バランスを取りながら計画を作ってまいりたいと思えます。

【委員】

質問ですが、最後の今後のスケジュールについて、1月中旬に議会で説明とか公表して、その後パブリックコメントをやるということ間違いはないですか。私は逆のほうが良いのではと思えました。パブリックコメントの意図というのが、どういった意味合いがあるのか教えてください。

（事務局）

議会に対する説明というのは、市議会議員は市民の代表であるため、広く市民の方にお知らせする前に、まずは議会に対して、これまでの議論の結果と計画案の中身を説明いたします。その後、パブリックコメントを実施し、市民の皆様に、この計画を周知する意味でも、概要をお知らせして、意見を求めたいと思っております。パブリックコメントの中で出された意見を整理して、計画に反映するかどうかも含めて、事務局のほうで検討させて頂きます。検討結果は皆様にご報告、通知のほうでご連絡・ご報告するような段取りをしております。皆様の役割として、計画案という所までご確認をお願いしたいという趣旨でございます。当然パブリックコメントの結果は、皆様のほうにご報告申し上げます。パブリックコメントでは、まずはこの計画の中身を市民の方知ってもらう、という意味合いもあります。そういうこともありまして、通常ですとホームページに載せて終わり、というような部分もあるのですが、今回は2月号の広報紙にある

程度の紙面を使い、計画概要の掲載を予定しています。

【会長】

我々委員にも、そのパブリックコメントの結果をご連絡頂くことになっております。多くのパブリックコメントが出ることを期待したいところです。

委員がご発言なされたように、少子化が進むことで地域の構造が変わっていく、そして、おそらくモビリティも新しく変わっていくであろう、色々な変革が行われることも見通して、この2～3年ですぐ変わるかどうかは別にしても、そのような変化にも十分対応できる余地がある施設であってほしい、と思いますので、今後、設計に進む際に、もう少し長期スパンで捉え、市民の皆様にとって良い建物になってほしいと思っております。

他には何かございますか。もし、どなたからもこの場で申し上げるご意見やご感想も含めたご発言が無いということでしたら、意見も出尽くしたということで、終了に向けて進めたいと存じますが、よろしいでしょうか。

それでは、意見も出尽くしたようですので、懇談会として、基本計画（案）の最終確認をしたという認識でよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

【会長】

異議がないということですので、基本計画（案）について、修正は特になし、原案通りという形で、懇談会の意見とさせていただきます。ありがとうございました。

その他について、事務局からよろしくお願いいたします。

(2) その他

(事務局)

委員からも、パブリックコメントに向けてご意見がありましたが、パブリックコメントを実施するタイミングで皆様に通知いたします。冒頭にも説明しましたが、パブリックコメントの対応結果につきましても、改めて通知いたします。

また、本日の懇談会の議事録は、年明け1月中旬ぐらいには、皆様に郵送いたします。懇談会の内容はホームページにアップいたしますので、修正ある場合にはご連絡頂きたいと思っております。

【会長】

予定していた議題はこれで全て終了いたしました。大変長い間お世話になりました。ありがとうございます。最後に挨拶させていただきます。

本日ももちまして、懇談会が終了になります。委員の皆様には、それぞれのお立場からの貴重なご意見を頂戴し、大変かつ慎重なご審議を頂きまして、誠にありがとうございました。私は残念ながら白河市民ではないですが、このような任務を任せられて、今日まで無事に務めることができ、大変光栄に思っております。皆様のお支えがあった賜物でございます。ありがとうございました。こういう形でご縁ができましたのも大変ありがたく、白河市民の一員として、今後も白河のまちと市民の皆様に係わっていきたいと思っております。どこかでお目にかかる機会がありましたら、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後となりますが、皆様の今後の一層のご活躍をお祈りいたしまして、お礼と挨拶に代えさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

（事務局）

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。次第にはありませんが、最後に市長からお礼をさせていただきます。

【白河市長】

複合施設整備基本計画検討懇談会は、長の指揮のもと、昨年12月から開始し、今回で7回目の懇談会になりました。途中4月～6月までコロナの関係があって休議となりました。そしてまた、コロナの問題が社会にどう影響するか、アフターコロナなどの視点から、この施設の在り方も考えていく必要があります、状況が大きく変わっていきましたが、その中で熱心に検討賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

市民会館跡地は、白河の中心市街地の一等地です。市役所の脇に隣接し、コミネス、りぶらん、マイタウンも近く、中心市街地で最も重要な公共用地ではなからうかと思っています。従って、どのように利活用するかは、非常に白河の将来にとって大事な施設であり、私どもとしては、広く健康というテーマを中核にした施設にしてはどうか、という思いで始まったわけであります。色々な議論を重ね、生涯学習機能であるとか、子育て機能であるとか、防災機能なども含めた施設はどうか、という議論になっていきました。私も12月の議会で言いましたが、コミネスとりぶらんを作った際、その目標ははっきりしておりました。いずれも市民文化会館という目標、それから図書館という目標であります。今回の複合施設は様々な可能性が考えられます。コミネス、りぶらんのときは異なり、色々なものが考えられる分、逆に言うと難しい施設であります。考えようによっては色々な考えが出てくる、多様な施設の可能性もあると考えた時に、将来何が必要かを考えた時に、なかなか難しいということを自問自答してまいりました。

いずれにしても、どこかの段階では方向性を出し、前に進むことが必要ですので、今回の検討懇談会の考え方を十分踏まえ、これからの白河のため、未来の子どもたちのために何を残せるか、という視点から、次の段階に入っていきたいと思っております。

会長をはじめ、各委員の方々に、熱心なる議論を賜りましたことについて、厚く御礼・感謝を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

それでは以上をもちまして、第7回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会を閉会したいと思います。約1年間に渡り、委員の皆様には熱心なご審議、誠にありがとうございました。